

農作物ダイオキシン類分析調査結果について

1 趣旨

県では地元田子町からの強い要望を受け、平成15年度より田子町の主要な農作物である米、枝豆、にんにくの安全性を確認し、風評を未然に防止するため、それぞれ3地点で収穫されたものについて、ダイオキシン類分析調査を実施しています。

2 分析調査結果

平成15年度以降の調査結果(平成17年度は「速報値」)は次のとおりであり、これまで国(農林水産省)が全国で実施して公表した調査結果などと比較して、十分に低い値でした。

(1) 米(精米)

(単位: pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成17年度調査 (平成17年産)	平成16年度調査 (平成16年産)	平成15年度調査 (平成15年産)
熊原川上流部	0	0.0000090	0
不法投棄現場付近	0	0.0000080	0
熊原川下流部	0.000020	0.000016	0

実測濃度が定量下限未満の値は0として算出している(以下同様。)

(2) 枝豆

(単位: pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成17年度調査 (平成17年産)	平成16年度調査 (平成16年産)	平成15年度調査 (平成15年産)
熊原川上流部	0.000005	0.00021	0
不法投棄現場付近	0.000005	0.000014	0
熊原川下流部	0.000008	0.000011	0

(3) にんにく

(単位: pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成17年度調査 (平成17年産)	平成16年度調査 (平成16年産)	平成15年度調査 (平成15年産)
熊原川上流部	0	0.00042	0.014
不法投棄現場付近	0	0.0000090	0
熊原川下流部	0	0.0000060	0.0051

【参考】

公表されている国(農林水産省)が実施した農作物のダイオキシン類調査結果

(単位: pg-TEQ/g-wet)

作物名	濃度範囲
水 稻	0.000042 ~ 0.014
枝 豆	0.000098 ~ 0.0040

水稲 平成16年度農畜産物に係るダイオキシン類実態調査(21検体)

枝豆 平成14年度農用地土壌及び農作物に係るダイオキシン類実態調査(2検体)

にんにく なし